

解決策は？ 本モデルのコンセプト

現状の課題

一部の大手企業が、森林組合等に「寄付」など形で支援しているが、「人」「モノ」「金」等を投入できないほとんどの中小企業は、森林保全を支援できていない。



課題解決策(本モデルの価値)



中小企業が、多くの共感者と共に、森林保全活動ができる仕組みを提供する

『共に「フォレスト・サポート」チャンネル』
('森林保全×個人'
マッチングポータル)

共感者/個人



中小企業



地域メディア企業等



提供/共同事業化



●我々が提供する新規事業モデル

- ・森林組合や大手一部の企業の「保全活動」に依存するのではなく、「中小企業」でも取り組めるよう、「一般人(共感者)」との「協働活動」を実現・支援するプラットフォーム『共に「SDGs/フォレスト・サポート」チャンネル』システムを、「情報収集」「情報発信」等の「ハブ」機能を持つ地域メディア企業と事業連携しながら、中小企業、共感者(緑、森林、自然に関心が高い一般人/コンシューマー)に提供することで、森林保全・育成活動の推進を支援していく。
- ・収益構造としては、顧客企業が、当該プラットフォームへの登録を実施しやすいように、一般人を絡めた当該活動の企画から、社内体制の構築、広報、事後報告など、連続性を持った「業務フロー」ごとのサービスを用意しておき、その工程ごとに、事案受託を実現する。